

# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	285	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01153 3R推進事業	所 属 長
		記 入 者
		乾 一 彦
		神 山 友 宏

## <1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	循環型社会形成推進基本法 廃棄物処理法 大津市補助金等交付規則等
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	01	ごみの減量と再資源化		
重事	01	ごみの減量と再資源化の推進	関連する個別計画	大津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	3R推進事業費	
事業の概要	市民会議である「ごみ減量と資源再利用推進会議」と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸における体験教室、啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等の購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより、3R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

## <2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから3Rを推進する循環型社会への転換を図るため
対象 (何又は誰を)	市民及び事業所を対象にして
手段 (どのようなやり方で)	ごみ減量と資源再利用推進会議と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸での体験教室や啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより
成果 (どのような状態にするのか)	市内における3R（ごみの発生抑制、不用品の再使用、再生利用）を推進する。

## <3. 経費> DO

	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A	208,390	189,794	156,848	137,491	147,491	
人件費 B	46,540	46,221	42,162	47,656	47,656	
事業費合計 A+B	254,930	236,015	199,010	185,147	195,147	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	
	県	723	517	154	668	668
	起債	0	0	0	0	0
	その他	35,672	29,287	34,604	31,096	31,096
一般財源	218,535	206,211	164,252	153,383	163,383	
職員数(人)	9.10	8.34	8.45	9.12	9.12	
職員数の内訳	正規	4.60	5.15	4.20	4.87	4.87
	嘱託	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	臨時	2.50	2.19	3.25	3.25	3.25

## <4. 指標> DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1 集団資源回収団体数	団体	目標	660	660	660	660	660
			実績	667	664	663	-	-
	当該年度後期（7月～12月）実施団体数							
2	リサイクルフェア来場者数（延べ人数）	人	目標	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360
			実績	2,364	2,119	1,893	-	-
人口34万人×2%が5回に1回参加見込み								
成果指標	1 ごみ排出量（可燃ごみ、不燃ごみ、大型ごみ）	t	目標	86,880	86,428	85,975	85,528	85,067
			実績	86,387	89,103	87,055	-	-
	ごみ減量実施プラン目標値（～H27）、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画目標値（28～）							
2	資源化率	%	目標	18.4	18.8	19.2	19.6	20
			実績	16.9	15.8	16	-	-
ごみ処理基本計画目標値								



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	286		
部 局 名	環境部	所 属 名	廃棄物減量推進課
事務事業名	01154 廃棄物適正処理事業	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	藤原 正明

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃掃法、廃棄物処理・再利用・美化条例
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	大津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	01	ごみの減量と再資源化		
重要	01	ごみの減量と再資源化の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	廃棄物適正処理事業費	

**事業の概要**  
 家庭から排出される一般廃棄物のステーション方式での定期的な収集運搬による適正処分と、不法投棄された特定家電、廃タイヤ等の適正処理困難物の処理及び市内の一般廃棄物処理業許可業者に対する適正排出の指導。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	家庭ごみの確実な収集と不法投棄された廃タイヤ等の適正処理により生活環境を保全すること、事業系ごみの適正な排出のために
対象 (何又は誰を)	ごみステーションに排出された家庭ごみや不法投棄された廃棄物及び事業系ごみを
手段 (どのようなやり方で)	民間業者への委託による収集運搬とその運行状況、処理状況の把握と不法投棄された廃棄物は民間業者による処理委託により、また、事業系廃棄物については収集運搬業の許可業者等及び排出事業者への指導により、
成果 (どのような状態にするのか)	効率的で確実な収集体制の確保と不法投棄された廃棄物の適正処理及び事業系ごみの適正な排出が行われる。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,309,721	1,257,469	1,245,616	1,226,049	1,226,049	
人件費 B		35,775	46,953	55,084	49,180	49,180	
事業費合計 A+B		1,345,496	1,304,422	1,300,700	1,275,229	1,275,229	
事業費 の財源 内 訳	国	0	13,295	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	82,945	107,275	113,896	124,716	124,716	ごみ処理手数料券、缶紙等売却代
	一般財源	1,262,551	1,183,852	1,186,804	1,150,513	1,150,513	
職員数(人)		5.50	6.52	7.57	6.85	6.85	
職員数 の内訳	正規	4.00	5.60	6.57	5.85	5.85	
	嘱託	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	臨時	1.00	0.42	0.50	0.50	0.50	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	定期収集日数	日	目標	310	310	310	310	310	
				実績	310	310	308	-	-	
	定期収集の延日数									
	2	展開調査	回	目標	22	15	15	15	15	
実績				22	15	15	-	-		
処理施設での事業系ごみ収集車両に対する展開調査(美化センター、北部クリーンセンター)										
成果指標	1	取り漏れ等の苦情件数	件数	目標	90	90	90	90	90	
				実績	99	56	86	-	-	
	実績値は収集係による回収件数									
	2	事業系ごみ量	t	目標	25,785	25,634	25,483	25,333	25,180	
実績				24,776	24,977	23,174	-	-		
H27~ごみ処理基本計画の見直しに伴う目標値										



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	287	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01023 し尿処理事業推進事業	所 属 長
		記 入 者
		乾 一 彦
		福 嶋 真

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	大津市生活排水対策推進計画
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	し尿処理事業推進費	

**事業の概要**  
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出されるし尿と浄化槽汚泥を適正に処理する。平成29年度事業レビューにあがった公衆便所3箇所については廃止した。また、16箇所の公衆便所を市民等が清潔で快適に利用できるよう維持管理に努めている。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 (許可)

## < 2. 事業分析 > PLAN

<b>目的</b> (何のために)	生活排水に係る清潔を確保することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため
<b>対象</b> (何又は誰を)	市民生活から排出されるし尿・浄化槽汚泥に対して
<b>手段</b> (どのようなやり方で)	し尿・浄化槽汚泥収集委託及び許可業者による収集運搬などの事業を推進して
<b>成果</b> (どのような状態にするのか)	し尿・浄化槽汚泥の適正な処理を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		52,923	47,263	48,151	46,256	46,256	
人件費 B		10,492	9,804	9,820	17,200	17,200	
事業費合計 A+B		63,415	57,067	57,971	63,456	63,456	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	25,408	25,178	23,225	24,334	24,334	し尿汲み取り手数料
	一般財源	38,007	31,889	34,746	39,122	39,122	
職員数(人)		1.80	1.70	1.70	2.60	2.60	
職員数の内訳	正規	1.00	0.90	0.90	1.80	1.80	
	嘱託	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	し尿汲み取り・浄化槽人口	人	目標	13,969	13,297	12,205	11,710	11,352	
				実績	13,297	12,710	12,066	-	-	
	(し尿汲み取り・浄化槽人口)									
	2	公衆便所年間清掃回数	年間回数	目標	19	10,741	10,089	8,574	8,574	
実績				19	10,741	10,576	-	-		
平成28年度までは公衆便所維持管理数/平成29年度からは公衆便所年間清掃回数										
成果指標	1	し尿・浄化槽汚泥処理量	kl/日	目標	39.9	39.3	36.19	32.53	30.55	
				実績	39.3	37.7	34.6	-	-	
	(し尿・浄化槽汚泥処理量)									
	2	公衆便所利用回数	回/日	目標	30	5,990	5,823	4,962	4,962	
実績				30	5,448	5,027	-	-		
平成28年度までは、市民・清掃業者などからの通報処理件数/平成29年からは公衆便所利用回数										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	し尿・浄化槽汚泥は下水道の普及に伴い減少している。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成29年度に葛川地域の収集方法を毎月収集の定期収集とし、市民サービスの向上に努めた。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の処理は市の責務であることから収集業者と連携しながら適正処理に努めている。また、公衆便所の衛生的な管理に努めている。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	し尿・浄化槽汚泥の適正処理に努め、生活環境の保全を確保している。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	専門的な業者が対応することにより、業務が効率的に実施されている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の処理は市の責務であり、適正処理に努めてきており、公衆衛生の向上に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	し尿・浄化槽汚泥量は下水道の普及に伴い減少しており、収集運搬効率が低下していることから、効率的な運用を検討していく。
部局長コメント	引き続き、委託及び許可業者と連携しながら一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の適正処理により、生活環境の保全に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	101.52 %	104.24 %	104.59 %
	指標2	100.00 %	90.95 %	86.33 %
成果増減率	指標1	- %	+4.07 %	+8.22 %
	指標2	- %	+8,060.00 %	-7.72 %
活動単位コスト	指標1	4 千円	4 千円	4 千円
	指標2	3,337 千円	5 千円	5 千円
成果単位コスト	指標1	1,613 千円	1,513 千円	1,675 千円
	指標2	2,113 千円	10 千円	11 千円
コスト増減率		- %	-46.65 %	-0.29 %

# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	288	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01052 し尿処理施設等整備事業	所 属 長
		記 入 者
		乾 一 彦
		福 嶋 真

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	滋賀県生活排水対策の推進に関する条例他  大津市生活排水対策推進計画
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他		関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	し尿処理施設等整備事業費	

**事業の概要**  
 下水道計画区域外の地域（葛川学区等）及び下水道の整備が当分の間（7年以上）見込まれない下水道事業等計画区域内の地域（以下、浄化槽補助対象地域とする。）における浄化槽の設置促進を図るため、設置費補助金の交付及び維持管理補助金の交付により浄化槽の適正管理に努め、浄化槽の維持管理の啓発活動を通して、公共用水域の水質汚濁防止へとつなげている。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## < 2. 事業分析 > PLAN

<b>目的</b> (何のために)	公共用水域の水質汚濁防止を図るため
<b>対象</b> (何又は誰を)	市民（浄化槽管理者）に対して
<b>手段</b> (どのようなやり方で)	浄化槽の設置及び維持管理に係る補助金の交付や啓発・指導を行うことにより
<b>成果</b> (どのような状態にするのか)	浄化槽の普及及び適正な維持管理の促進を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		8,873	8,807	7,788	7,738	7,738	
人件費 B		16,280	12,691	12,717	12,090	12,090	
事業費合計 A+B		25,153	21,498	20,505	19,828	19,828	
事業費 の財源 内 訳	国	1,506	2,045	2,045	1,299	1,658	浄化槽設置費補助金
	県	1,798	3,125	2,776	2,418	2,418	浄化槽設置費補助金・交付金
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	105	315	0	0	浄化槽保守点検業登録申請手数料
	一般財源	21,849	16,223	15,369	16,111	15,752	
職員数(人)		2.52	2.25	2.25	1.60	1.60	
職員数 の内訳	正規	1.82	1.30	1.30	1.40	1.40	
	嘱託	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	臨時	0.50	0.75	0.75	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	設置費補助件数	件	目標	18	18	18	14	14	
				実績	16	17	14	-	-	
市内で浄化槽設置整備事業の補助金交付を受けた件数										
活動指標	2			目標						
				実績						
成果指標	1	汲取り・単独処理浄化槽人口	人	目標	40	8,581	8,301	8,286	7,870	
				実績	12	9,185	8,724	-	-	
	設置補助のうち未水洗化世帯が浄化槽を設置した基数/平成29年度からは、汲取り・単独処理人口									
	2	設置費補助のうち、みなし浄化槽から浄化槽への切替件数割合	%	目標	20	0	0	0	0	
実績				0	0	0	-	-		
設置補助のうちみなし浄化槽から浄化槽へ切替設置した基数/平成29年度からは指標1へ統合										



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	289				
部 局 名	環境部	所 属 名	廃棄物減量推進課	所 属 長	乾 一彦
事務事業名	02622 美化清掃事業（廃棄物減量推進課）	記 入 者	別所 淳人		

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市廃棄物の処理及び再利用の促進並びに環境の美化に関する条例 一般廃棄物処理基本計画
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	02625	美化清掃収集車管理事業（廃棄物減量推進課）	1703	廃棄物減量推進課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	美化清掃事業費	

事業の概要  
自治会や各種団体等による美化活動に伴うごみの収集、小・中学校、支所等に設置されている使用済乾電池回収箱からの乾電池収集、犬・猫等動物死体の収集業務（委託）、刈草剪定枝の堆肥化により生じた堆肥の市内3か所の配布場所への運搬を行う。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	生活環境の美化及びごみの減量・再資源化を図るため
対象 (何又は誰を)	美化活動等に伴うごみ、廃乾電池の資源ごみ、また、動物の死体を
手段 (どのようなやり方で)	収集係職員及び委託業者（動物死体に限る。）が、じん芥収集車等で迅速に収集を行い
成果 (どのような状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努め、環境保全を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		13,657	14,804	12,490	15,937	15,937	
人件費 B		31,685	27,030	24,895	24,895	24,895	
事業費合計 A+B		45,342	41,834	37,385	40,832	40,832	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	1,325	1,010	940	1,632	1,632	
	一般財源	44,017	40,824	36,445	39,200	39,200	
職員数(人)		4.75	4.10	4.10	4.10	4.10	
職員数の内訳	正規	4.75	4.10	3.40	3.40	3.40	
	嘱託	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	美化活動に伴うごみ等の直営収集量	t	目標	200	200	200	200	200
				実績	177	146	211	-	-
	美化活動に伴うごみ、苦情、廃乾電池等の直営収集量								
	2	動物死体の収集数	体	目標	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
実績				1,090	1,262	1,078	-	-	
飼犬、飼猫等のペット、野良犬、野良猫等の動物死体の収集数									
成果指標	1	収集応需率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100	100	100	-	-
	市民からのごみ等収集需要に対する応需率								
	2			目標					
実績									



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	292		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	01164 地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）	所 属 長	米田 博明
		記 入 者	上松 一智

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重要	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）	

**事業の概要**  
 北部クリーンセンターの運営並びに建替えを円滑に行うための当該施設の対象地区における地区環境整備事業

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	伊香立地区の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和 2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		47,505	47,386	33,013	28,810	57,984	
人件費 B		29,920	32,731	31,748	33,287	33,287	
事業費合計 A+B		77,425	80,117	64,761	62,097	91,271	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	77,425	80,117	64,761	62,097	91,271	
職員数(人)		3.74	4.03	3.91	4.09	4.09	
職員数の内訳	正規	3.68	3.98	3.86	4.05	4.05	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
活動指標	1	事業補助数	件	目標	37	38	40	40	40	
		実績		41	63	39	-	-		
		年間支出事業補助件数								
成果指標	1	事業効率化指数	—	目標	1	1	1	1	1	
				実績	1.85	1.53	0.93	-	-	
			1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる							
	2			目標						
			実績							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理施設の建設と円滑な運営のためには、周辺地域住民の理解と協力が必要であるため、生活環境の向上を図るための施策の実施が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、透明性や公平性をより高め、適正な事業執行に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条の規定により一般廃棄物の適正処理の責務を有する。そのために市内の処理施設の設置及び円滑な運営のため、覚書に基づく事業を実施し、地域住民の理解を得る必要がある。なお、事業実施にあたっては、庁内に検討委員会を設置し、慎重な審議を実施している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業実施により周辺地域住民から理解を得ることで、ごみ処理施設の円滑な運営に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	対象地区と交換した覚書に基づき、優先順位の高いものから順に事業を実施している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物を適正に処理するためには、ごみ処理施設の設置及び円滑な運営が不可欠であり、そのためには、施設周辺住民の理解を得る必要がある。このことから当該事業を実施することは、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献するものである。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄物の適正な処理は不可欠であり、地区環境整備事業はそのことに貢献するものであることから、今後も事業を推進していく。
部局長コメント	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図りながら、廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	185.00 %	153.00 %	93.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-17.29 %	-39.21 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,888 千円	1,271 千円	1,660 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	41,851 千円	52,364 千円	69,635 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+25.11 %	+32.98 %

# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	293		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	01165 地区環境整備事業費（環境美化センター）	所 属 長	米田 博明
		記 入 者	島村 一哉

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重要	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（環境美化センター）	

**事業の概要**  
 環境美化センターの運営並びに改築を円滑に行うための当該施設の対象地区における地区環境整備事業

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

<b>目的</b> (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
<b>対象</b> (何又は誰を)	富士見地区の市民を対象として
<b>手段</b> (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
<b>成果</b> (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	備 考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	
直接経費 A		28,647	15,029	17,832	15,876	23,600	
人件費 B		4,810	6,081	7,312	6,965	7,047	
事業費合計 A+B		33,457	21,110	25,144	22,841	30,647	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	33,457	21,110	25,144	22,841	30,647	
<b>職員数(人)</b>		0.64	0.78	0.93	0.88	0.89	
職員数の内訳	正 規	0.58	0.73	0.88	0.84	0.85	
	嘱 託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨 時	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
活動指標	1	事業補助数	件	目標	6	6	4	3	4
				実績	6	4	4	-	-
	年間支出事業補助件数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	事業効率化指数	-	目標	1	1	1	1	1
				実績	1.04	1.19	1.05	-	-
	1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる								
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理施設の建設と円滑な運営のためには、周辺地域住民の理解と協力が必要であるため、生活環境の向上を図るための施策の実施が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、透明性や公平性をより高め、適正な事業執行に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条の規定により一般廃棄物の適正処理の責務を有する。そのために市内の処理施設の設置及び円滑な運営のため、覚書に基づく事業を実施し、地域住民の理解を得る必要がある。なお、事業実施にあたっては、庁内に検討委員会を設置し、慎重な審議を実施している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業実施により周辺地域住民から理解を得ることで、ごみ処理施設の円滑な運営に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	対象地区と交換した覚書に基づき、優先順位の高いものから順に事業を実施している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物を適正に処理するためには、ごみ処理施設の設置及び円滑な運営が不可欠であり、そのためには、施設周辺住民の理解を得る必要がある。このことから当該事業を実施することは、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献するものである。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他    ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了(    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄物の適正な処理は不可欠であり、地区環境整備事業はそのことに貢献するものであることから、今後も事業を推進していく。
部局長コメント	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図りながら、廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	104.00 %	119.00 %	105.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+14.42 %	-11.76 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	5,576 千円	5,277 千円	6,286 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	32,170 千円	17,739 千円	23,946 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-44.85 %	+34.99 %

# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	294		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	01166 地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	所 属 長	米田 博明
		記 入 者	上松 一智

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する 個別計画	
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	

事業の概要  
北部廃棄物最終処分場の設置及び運営を円滑に行うための当該施設の対象地区における地区環境整備事業

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	龍華地区の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		10,627	12,849	15,497	11,689	12,189	
人件費 B		3,676	3,785	3,540	3,603	3,603	
事業費合計 A+B		14,303	16,634	19,037	15,292	15,792	
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	51	0	1	1	
	一般財源	14,303	16,583	19,037	15,291	15,791	
職員数(人)		0.50	0.50	0.47	0.47	0.47	
職員数 の内訳	正規	0.44	0.45	0.42	0.43	0.43	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	事業補助数	件	目標	5	5	5	2	5
				実績	1	1	1	-	-
年間支出事業補助件数									
2				目標					
				実績					
成果指標	1	事業効率化指数	—	目標	1	1	1	1	1
				実績	0.34	0.36	0.58	-	-
1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる									
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理施設の建設と円滑な運営のためには、周辺地域住民の理解と協力が必要であるため、生活環境の向上を図るための施策の実施が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成25年度に地区環境整備事業のあり方について見直しを行い、透明性や公平性を高め、適正な事業実施に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条の規定により一般廃棄物の適正処理の責務を有する。そのために市内の処理施設の設置及び円滑な運営のため、覚書に基づく事業を実施し、地域住民の理解を得る必要がある。なお、事業実施にあたっては、庁内に検討委員会を設置し、慎重な審議を実施している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業実施により周辺地域住民から理解を得ることで、ごみ処理施設の円滑な運営に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	対象地区と交換した覚書に基づき、優先順位の高いものから順に事業を実施している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物を適正に処理するためには、ごみ処理施設の設置及び円滑な運営が不可欠であり、そのためには、施設周辺住民の理解を得る必要がある。このことから当該事業を実施することは、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献するものである。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄物の適正な処理は不可欠であり、地区環境整備事業はそのことに貢献するものであることから、今後も事業を推進していく。
部局長コメント	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図りながら、廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	34.00 %	36.00 %	58.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+5.88 %	+61.11 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	14,303 千円	16,634 千円	19,037 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	42,067 千円	46,205 千円	32,822 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+9.83 %	-28.96 %

# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	295		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	01169 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）	所 属 長	米田 博明
		記 入 者	島村 一哉

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（大田廃棄物最終処分場）	

事業の概要  
大田廃棄物最終処分場の設置及び運営を円滑に行うための当該施設の対象地区における地区環境整備事業

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	大石地区の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	備 考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	
直接経費 A		26,477	20,536	18,095	16,735	18,877	
人件費 B		10,318	10,673	12,068	11,639	16,231	
事業費合計 A+B		36,795	31,209	30,163	28,374	35,108	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	36,795	31,209	30,163	28,374	35,108	
職員数(人)		1.32	1.34	1.51	1.45	2.01	
職員数の内訳	正規	1.26	1.29	1.46	1.41	1.97	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	

## < 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1 事業補助数	件	目標	20	25	25	16	25
			実績	22	24	23	-	-
活動指標	2 年間支出事業補助件数		目標					
			実績					
成果指標	1 事業効率化指数	—	目標	1	1	1	1	1
			実績	1.36	1.05	1.16	-	-
成果指標	2 1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる		目標					
			実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	ごみ処理施設の建設と円滑な運営のためには、周辺地域住民の理解と協力が必要であるため、生活環境の向上を図るための施策の実施が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、透明性や公平性をより高め、適正な事業執行に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条の規定により一般廃棄物の適正処理の責務を有する。そのために市内の処理施設の設置及び円滑な運営のため、覚書に基づく事業を実施し、地域住民の理解を得る必要がある。なお、事業実施にあたっては、庁内に検討委員会を設置し、慎重な審議を実施している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	事業実施により周辺地域住民から理解を得ることで、ごみ処理施設の円滑な運営に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	対象地区と交換した覚書に基づき、優先順位の高いものから順に事業を実施している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	一般廃棄物を適正に処理するためには、ごみ処理施設の設置及び円滑な運営が不可欠であり、そのためには、施設周辺住民の理解を得る必要がある。このことから当該事業を実施することは、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献するものである。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄物の適正な処理は不可欠であり、地区環境整備事業はそのことに貢献するものであることから、今後も事業を推進していく。
部局長コメント	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図りながら、廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	136.00 %	105.00 %	116.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-22.79 %	+10.47 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1,672 千円	1,300 千円	1,311 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	27,055 千円	29,722 千円	26,002 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+9.86 %	-12.51 %





# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	297		
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課
事務事業名	02229 地区環境整備事業（大津クリーンセンター）	所 属 長	米田 博明
		記 入 者	島村 一哉

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	地区環境整備事業費（大津クリーンセンター）	

事業の概要  
大津クリーンセンターの設置及び運営を円滑に行うための当該施設の対象地区における環境整備事業

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	ごみ処理施設の円滑な運営のため
対象 (何又は誰を)	大石地区の市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果 (どのような状態にするのか)	良好な生活環境の実現を図り、ごみ処理施設の円滑な運営に繋げる。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	備 考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	
直接経費 A		17,764	20,297	15,767	16,180	34,250	
人件費 B		5,053	6,983	8,460	8,195	3,521	
事業費合計 A+B		22,817	27,280	24,227	24,375	37,771	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	22,817	27,280	24,227	24,375	37,771	
職員数(人)		0.67	0.89	1.07	1.03	0.46	
職員数の内訳	正規	0.61	0.84	1.02	0.99	0.42	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	

## < 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1 事業補助数	件	目標	42	52	41	45	2
			実績	50	58	61	-	-
活動指標	2 年間支出事業補助件数		目標					
			実績					
成果指標	1 事業効率化指数	-	目標	1	1	1	1	1
			実績	1.18	1.2	1.5	-	-
成果指標	2 1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる		目標					
			実績					



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	299		
部 局 名	環境部	所 属 名	環境美化センター
事務事業名	01175	じん芥焼却場管理事業	所 属 長 山田 和彦 記 入 者 榎田 芳裕

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物処理法、ダイオキシン類対策特別措置法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 一般廃棄物処理実施計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	じん芥焼却場管理事業費	

事業の概要  
 大津市南部地域から発生する燃やせるごみを、適正かつ円滑に処理を行うための適切な施設管理を行う。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	大津市環境美化センターに搬入されるごみを適正かつ円滑に処理するため
対象 (何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみを
手段 (どのようなやり方で)	①焼却炉の適正負荷によるごみ処理で、②排ガス等の規制基準を遵守し
成果 (どのような状態にするのか)	①安定した運転操業を実施し、②環境汚染物質の低減を図る

## ＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		485,654	472,857	486,989	475,359	486,064	
人件費 B		36,015	31,110	39,650	44,630	44,630	
事業費合計 A+B		521,669	503,967	526,639	519,989	530,694	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	222,369	241,805	22,089	255,119	222,080	
	一般財源	299,300	262,162	504,550	264,870	308,614	
職員数(人)		7.00	6.70	6.90	7.30	7.30	
職員数の内訳	正規	3.50	3.20	4.90	5.10	5.10	
	嘱託	3.50	2.00	1.00	2.20	2.20	
	臨時	0.00	1.50	1.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	ごみ焼却量	トン	目標	41,908	44,014	44,014	44,325	44,325	
				実績	44,965	49,323	46,816	-	-	
	156t/日×365日×0.77845≒44,325t (標準稼働率は0.736)									
成果指標	1	排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	-	-	
	排ガス1m <sup>3</sup> N中のダイオキシン類(単位10億分の1g)量、基準値=5ng/m <sup>3</sup> N※目標値1ng									
	2	固化飛灰のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	-	-	
セメント固化した固化飛灰1g中のダイオキシン類の量、基準値=3ng/g(直接適用なし)										



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	300		
部 局 名	環境部	所 属 名	環境美化センター
事務事業名	01176 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業	所 属 長	山田 和彦
		記 入 者	林 豊治

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物処理法、水質汚濁防止法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	大津市環境基本計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	01167	地区環境整備事業（南部・第二南部不燃物処分地）	1707	施設整備課

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	管理	評価対象事業	不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理費	

**事業の概要**  
 南部不燃物処分地は昭和57年7月から昭和62年6月まで、第二南部不燃物処分地は平成元年6月から平成6年7月まで埋立処分を行い、その後も浸出水処理施設の運転、維持管理にあたってきた。両処分地ともに浸出水の水質は、法令上の基準は満たし一定安定しているが、南部処分地の発生ガスは一部安定していないため、安定するまでの間両浸出水処理施設の適切な運転管理をはじめ、処分地の適正な管理を継続する。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	不燃物処分地を適正に維持管理するため
対象 (何又は誰を)	浸出水、処理水、地下水及び発生ガスについて
手段 (どのようなやり方で)	適正な浸出水処理施設の維持管理及び発生ガス安定化促進を実施し
成果 (どのような状態にするのか)	浸出水質、発生ガスの安定化を図る

## ＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		25,863	21,897	20,762	17,301	50,937	
人件費 B		15,482	11,319	10,820	8,820	8,820	
事業費合計 A+B		41,345	33,216	31,582	26,121	59,757	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	41,345	33,216	31,582	26,121	59,757	
職員数(人)		2.80	2.20	2.70	2.40	2.40	
職員数の内訳	正規	1.50	1.05	0.70	0.40	0.40	
	嘱託	0.80	0.65	1.50	1.50	1.50	
	臨時	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	水質検査回数	回	目標	4	4	4	4	4
				実績	4	4	4	-	-
	浸出水及び処理水中のCOD、窒素等の年間測定回数								
	2	発生ガス検査回数	回	目標	3	3	3	3	3
実績				3	4	3	-	-	
発生ガスの量、質の年間測定回数									
成果指標	1	水質基準値遵守率 (COD・南部)	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100	100	100	-	-
	処理水中のCOD基準値=20mg/l								
	2	水質基準値遵守率 (COD・第二南部)	%	目標	100	100	100	100	100
実績				100	100	100	-	-	
処理水中のCOD基準値=20mg/l									



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	301		
部 局 名	環境部	所 属 名	環境美化センター
事務事業名	01177 大田廃棄物最終処分場管理事業	所 属 長	山田 和彦
		記 入 者	林 豊治

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物処理法、水質汚濁防止法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	大津市環境基本計画、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重要	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	大田廃棄物最終処分場管理費	

**事業の概要**  
 環境美化センターからの焼却灰や大津クリーンセンターからの破碎不燃物などを適正かつ円滑に埋立処分を行い、また埋立地から発生する浸出水を適正に処理する。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	焼却灰等不燃性一般廃棄物を適正に最終処分するため
対象 (何又は誰を)	焼却灰、破碎不燃物及び持ち込みの燃やせないごみを受け入れ、埋立処分場から発生する浸出水の処理等を
手段 (どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、埋立処分及び浸出水処理施設の適切な運転管理を実施し
成果 (どのような状態にするのか)	①衛生的で安全な埋立処分②放流水（処理水）の水質基準値の遵守を図る

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		69,933	62,905	55,782	63,126	69,621	
人件費 B		13,949	11,604	11,640	11,490	11,490	
事業費合計 A+B		83,882	74,509	67,422	74,616	81,111	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	134	144	240	130	130	
	一般財源	83,748	74,365	67,182	74,486	80,981	
職員数(人)		2.80	2.55	2.80	2.60	2.60	
職員数の内訳	正規	1.20	0.90	0.80	0.80	0.80	
	嘱託	1.10	1.15	1.50	1.30	1.30	
	臨時	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	燃やせないごみ、焼却灰の埋立量	立方メートル	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績	4,892	5,037	5,064	-	-
	家庭系、及び事業系の燃やせないごみ、焼却灰等の埋立量								
	2	水質検査回数	回	目標	12	12	12	12	12
実績				12	12	12	-	-	
浸出水及び処理水中のCOD、窒素等の年間測定回数									
成果指標	1	埋立率（第1期）平成30年度は第2期分をさす	%	目標	99	100	2	3	4
				実績	98.27	99.9	2.59	-	-
	埋立処分地に対する埋立進捗率								
	2	水質基準値遵守率（COD）	%	目標	100	100	100	100	100
実績				100	100	100	-	-	
処理水中のCOD基準値 = 20mg/l									



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	302		
部 局 名	環境部	所 属 名	北部クリーンセンター
事務事業名	01180 北部クリーンセンター管理運営事業	所 属 長	新野 道郎
		記 入 者	清水 拓也

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃掃法、容り法、ダイオキシン類特措法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
	01179	クリーンセンター施設整備事業		1708	北部クリーンセンター
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	クリーンセンター管理運営事業費	
事業の概要	琵琶湖疏水以北で発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、かん、びん、ペットボトル及び大型ごみ、大津市全域で発生するプラスチック容器包装の円滑な処理及び資源化を図るための適正な施設管理を行う。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	北部クリーンセンターに搬入されるごみを適正かつ円滑に処理及び資源化するため
対象 (何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみを
手段 (どのようなやり方で)	①焼却施設、粗大ごみ処理施設、プラスチック容器資源化施設の適正な運転によるごみ処理で、②排ガス等の規制基準を遵守し
成果 (どのような状態にするのか)	①安定した運転・操業を実施すること及び資源化できるものは適正に実施 ② 環境汚染物質の低減を図る

## ＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		660,234	673,854	672,828	669,576	673,612	
人件費 B		59,480	53,976	49,701	50,745	50,745	
事業費合計 A+B		719,714	727,830	722,529	720,321	724,357	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	237,073	216,629	226,050	217,333	237,039	
	一般財源	482,641	511,201	496,479	502,988	487,318	
職員数(人)		10.10	10.10	9.93	9.60	9.60	
職員数の内訳	正規	7.10	6.10	5.10	5.10	5.10	
	嘱託	3.00	4.00	3.00	4.50	4.50	
	臨時	0.00	0.00	1.83	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	ごみ焼却量	トン	目標	41,370	41,370	41,370	41,370	41,370
				実績	39,966	39,113	39,755	-	-
	154 t/日×365日×0.736=41,370 t								
2	資源ごみの搬入量	トン	目標	2,862	2,862	2,862	2,862	2,862	2,862
			実績	2,777	2,739	2,778	-	-	
かん、びん、ペットボトル及びプラスチック容器の搬入量									
成果指標	1	排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100	100	100	-	-
排ガス1m <sup>3</sup> N中に含れるD×N類の量(1ngは10億分の1)、基準値=1ng/m <sup>3</sup> N以下									
2	資源ごみの処理率	%	目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	-	-	
資源ごみの処理量÷資源ごみの搬入量									



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	303		
部 局 名	環境部	所 属 名	北部クリーンセンター
事務事業名	01181 一般廃棄物最終処分場管理運営事業	所 属 長	新野 道郎
		記 入 者	川村 与志治

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
	03333	一般廃棄物最終処分場施設整備事業		1708	北部クリーンセンター
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	一般廃棄物最終処分場管理運営事業費	
事業の概要	北部クリーンセンターから排出される焼却灰、破碎不燃物及び琵琶湖疏水以北から排出される持ち込みの燃やせないごみの適正かつ円滑な埋立処分を行う。また、処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理するための適正な施設管理を行う。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	北部最終処分場に搬入される一般廃棄物及び焼却灰等を適正かつ円滑に処理するため
対象 (何又は誰を)	焼却灰、破碎不燃物（破碎処理残渣）及び持ち込みの燃やせないごみを
手段 (どのようなやり方で)	①最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づく埋立処分及び浸出水処理施設の適正な運転管理で、 ②水質等の規制基準を遵守し
成果 (どのような状態にするのか)	①清潔で安全な埋立処分を実施し、 ②放流水（処理水）の水質基準値を遵守する

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和 2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		64,942	55,627	50,421	46,553	46,553	
人件費 B		24,101	23,398	23,606	25,131	25,131	
事業費合計 A+B		89,043	79,025	74,027	71,684	71,684	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	3,487	387	166	253	253	
	一般財源	85,556	78,638	73,861	71,431	71,431	
職員数(人)		4.41	4.33	4.33	4.83	4.83	
職員数の内訳	正規	2.41	2.33	2.33	2.33	2.33	
	嘱託	2.00	2.00	2.00	2.50	2.50	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
活動指標	1	焼却灰、破碎不燃物等の埋立量	m <sup>3</sup>	目標	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	
				実績	5,209	4,930	5,056	-	-	
	2	水質検査実施回数	回	目標	12	12	12	12	12	
				実績	12	12	12	-	-	
浸出水中のCOD、窒素その他の年間測定回数										
成果指標	1	水質検査実施率	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	-	-	
	浸出水の状態を常に把握し、適正な水質管理を行うため水質検査を定期的に実施する。									
	2	排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100	
実績				100	100	100	-	-		
処理水1 <sub>0</sub> 中のダイオキシン類の量（pgは1兆分の1g）、基準値=10pg/以下										





<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民の環境に対する意識向上並びにごみ減量・リサイクル意識の向上		
これまでの見直しや改善等の経過	当該施設は、平成23年12月1日に大津市の一般廃棄物処理施設として大津市に帰属され、市のごみ処理施設として適正に運転管理委託を続けている。平成26年3月31日をもって焼却施設は終了した。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市町村が行うべき事業であり妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	計画どおり適性に安定してごみ処理及び再資源化を図っている。また、規制基準についても法基準値はもとより、協定値についても全て遵守している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	施設が稼働開始してから30年以上が経過しており、大半の設備機器が老朽化しているなか、経験豊富で技術力を有する民間の専門業者に維持管理を委託することにより、大きなトラブルが発生することなく、効率よく安定した操業ができています。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	ごみを適正に処理するとともに、資源化物については搬入物を資源化し、資源の有効活用の推進に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他    ) <input checked="" type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了(    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	稼働後36年目を迎える破砕施設及び稼働後33年目を迎える再資源化施設の維持管理費を抑制し、効率的な運転に努めながら、新施設が稼働するまでの間、安定したごみ処理を行えるように事業を継続していくとともに、地元説明を行い、新施設への移行及び解体撤去に伴う業務を計画的に進めていく。
	部局長コメント	破砕施設・再資源化施設の効率的な運転に努め、安全で安定的にごみ処理施設の管理運営を行っていく。また、令和元年度末をもって操業終了するため、施設の解体撤去に伴う業務を計画的に進めていく。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	131 千円	132 千円	138 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	1,937 千円	1,898 千円	1,936 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-2.02 %	+1.98 %

# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	305		
部 局 名	環境部	所 属 名	大津クリーンセンター
事務事業名	02217 中町淀町最終処分場管理運営事業	所 属 長	山田和彦
		記 入 者	清水一義

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物処理法、ダイオキシン類特措法
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		大津市環境基本計画、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重要	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	中町淀町最終処分場管理運営事業費	

**事業の概要**  
 大石中町廃棄物最終処分場及び大石淀町廃棄物最終処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理する。また、地元との覚書に基づき最終処分場及び周辺の環境美化に努める。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	最終処分場水処理施設を適正に維持管理するため
対象 (何又は誰を)	最終処分場から発生する浸出水について
手段 (どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、浸出水処理施設の適正な運転管理を実施し
成果 (どのような状態にするのか)	放流水（処理水）の環境保全協定値の遵守及び埋立地を含めた周辺の環境美化に努める

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		65,056	56,716	55,509	58,044	61,594	
人件費 B		5,120	8,390	7,510	9,010	9,010	
事業費合計 A+B		70,176	65,106	63,019	67,054	70,604	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	70,176	65,106	63,019	67,054	70,604	
職員数(人)		1.40	1.10	1.00	1.35	1.35	
職員数の内訳	正規	0.40	1.10	1.00	0.95	0.95	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.40	0.40	
	臨時	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	水質検査回数	回	目標	12	12	12	12	12
				実績	12	12	12	-	-
活動指標	2	浸出原水及び処理水のCOD、窒素その他の年間測定回数							
		目標							
成果指標	1	COD、窒素等の水質基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100	100	100	-	-
成果指標	2	処理水質中のCODの基準値20mg/リットル 窒素の基準値10mg/リットル							
		排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	目標	100	100	100	100	100
実績	100			100	100	-	-		
		処理水のダイオキシン類の量、基準値10pg/リットル							



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	306	
部 局 名	環境部	所 属 名
事務事業名	01024 衛生処理場運転管理事業	所 属 長
		記 入 者
		原田浩二
		佐藤良一

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	関連する個別計画	大津市生活排水対策推進計画、大津市し尿処理基本計画
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	02	適正処理の推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	衛生処理場運転管理事業費	

事業の概要  
市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上、維持に努める。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持するため、
対象 (何又は誰を)	市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を
手段 (どのようなやり方で)	適切に維持管理が行われる衛生プラント（し尿処理施設）で、安全かつ安定した運転、処理することで、
成果 (どのような状態にするのか)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持を確保する。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		263,082	267,915	265,363	267,930	267,930	
人件費 B		20,843	19,647	23,540	23,540	23,540	
事業費合計 A+B		283,925	287,562	288,903	291,470	291,470	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	283,925	287,562	288,903	291,470	291,470	
職員数(人)		4.60	4.50	4.40	4.40	4.40	
職員数の内訳	正規	1.80	1.60	2.40	2.40	2.40	
	嘱託	0.90	0.90	0.00	0.00	0.00	
	臨時	1.90	2.00	2.00	2.00	2.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	し尿・浄化槽汚泥搬入量(1日当り)	kl/日	目標	41.4	40.3	39.2	38.2	37.2	
				実績	39.3	37.7	34.6	-	-	
	志賀、北部及び南部衛生プラントのし尿・浄化槽汚泥搬入量									
	2	汚泥焼却灰処分量	t/年	目標	37	35	15	15	15	
実績				27	19	6	-	-		
汚泥焼却灰の処分量										
成果指標	1	放流水の水質(BOD) (管理目標値以下の達成度)	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	-	-	
	生物化学的酸素要求量10mg/l以下に処理									
	2	放流水の水質(T-N) (管理目標値以下の達成度)	%	目標	100	100	100	100	100	
実績				100	100	100	-	-		
総窒素量10mg/l以下に処理										



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	290	
部局名	環境部	所属名 不法投棄対策課
事務事業名	01173 廃棄物不適正処理対策事業	所属長 山本 哲 記入者 高谷 俊司

## <1. 基本事項>

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 大津市放置自動車条例  大津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	03	土砂等の埋立て規制の強化		
重事	01	不法投棄防止の推進	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	廃棄物不適正処理対策事業費	

事業の概要  
職員及び不法投棄等監視員（地域住民に委嘱）による平日の監視パトロール、民間へ委託している閉庁日（土曜日等）のパトロールにより、不法投棄の未然防止及び早期発見を図るとともに、不法投棄行為者等に対し不法投棄物の除去等の是正指導を行い、原状回復に努める。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（ ）

## <2. 事業分析> PLAN

目的 (何のために)	廃棄物の不法投棄の早期発見・早期処理を行うため
対象 (何又は誰を)	不法投棄廃棄物（放置自動車を含む）を対象に
手段 (どのようなやり方で)	職員や不法投棄等監視員、民間業者によるパトロールによる発見及び不法投棄行為者等に対する不法投棄物（放置自動車を含む）の除去等の指導を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	生活環境の保全が図られる。

## <3. 経費> DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		10,656	9,630	9,249	8,177	8,177	
人件費 B		35,890	40,490	47,786	50,456	50,456	
事業費合計 A+B		46,546	50,120	57,035	58,633	58,633	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	2,850	1,850	1,850	1,850	1,850	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	43,696	48,270	55,185	56,783	56,783	
職員数(人)		7.30	7.85	8.73	8.93	8.93	
職員数の内訳	正規	3.30	3.85	4.73	5.13	5.13	
	嘱託	4.00	4.00	4.00	3.80	3.80	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## <4. 指標> DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	現場確認箇所数	箇所	目標	15	15	15	15	15	
				実績	19	21	21	-	-	
監視取締り対象現場への確認箇所（1出動当り延べ確認現場数）										
活動指標	2			目標						
				実績						
成果指標	1	苦情件数に対する解決率	%	目標	80	80	80	80	80	
				実績	93	99	92	-	-	
	廃棄物の不法投棄等に関する苦情を解決した率									
	2	産業廃棄物事案の解決率	%	目標	20	20	20	20	20	
			実績	0	0	0	-	-		
平成28年度より当事業の成果指標とせず、不法投棄事案対策事業のみの成果指標とする										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	大規模な不法投棄事案の発生は近年報告されていない。しかし解体された建築廃材や産業廃棄物が山林等に不法投棄されている事案が依然見られる。また一般廃棄物が山林や道路等に不法投棄される事案が多発している。		
これまでの見直しや改善等の経過	監視カメラの増設、地域住民による不法投棄等監視員の増員、民間委託による閉庁日（土曜日等）パトロールにより、不法投棄の早期発見早期対応を行った。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく不法投棄対策は天津市の責務である。民間事業者、地域住民と連携をとりながら監視活動を行うことで不法投棄の早期発見早期対応に繋がっていることから行政が主体となることは妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	成果指標となる苦情件数に対する解決率は目標値を達成しており、有効である。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	職員、地域住民による監視や監視カメラの設置に加え、閉庁日は民間事業者による監視活動を行うことで、効率的に不法投棄の早期発見早期対応を実施できている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	地域監視員、嘱託職員及び民間パトロール、監視カメラの増設により不法投棄物が早期発見早期対応されており、不法投棄防止に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	引き続き監視カメラ設置や嘱託職員及び民間パトロール、地域監視員による監視を行い、不法投棄の早期発見や未然防止に努める。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1 116.25 %	123.75 %	115.00 %
	指標2 - %	- %	- %
成果増減率	指標1 - %	+6.45 %	-7.07 %
	指標2 - %	%	%
活動単位コスト	指標1 2,449 千円	2,386 千円	2,715 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1 500 千円	506 千円	619 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+1.15 %	+22.45 %

# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	291		
部 局 名	環境部	所 属 名	不法投棄対策課
事務事業名	02230 不法投棄事案対策事業	所 属 長	山本 哲
		記 入 者	高谷 俊司

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	大津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	03	土砂等の埋立て規制の強化		
重要	01	不法投棄防止の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	政策	評価対象事業	不法投棄事案対策事業費	

**事業の概要**  
 中核市移行に伴い滋賀県より引き継いだ廃棄物不適正処理事案について、廃棄物の適正な処理を行うために行為者等の追及や指導を行い、原状回復を図っている。原状回復が直ちに困難であると見込まれるような場合は周辺環境に影響がないか調査を行う。また、廃棄物に起因して生活環境保全上の支障が生じる場合には、直ちに支障除去に努める。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	不適正処理廃棄物の適正な処理を推進するために
対象 (何又は誰を)	不適正処理された廃棄物を
手段 (どのようなやり方で)	行為者等に対する不法投棄物の除去等を指導や投棄物による周辺環境への影響の調査により
成果 (どのような状態にするのか)	滋賀県より引継いだ不適正処理事案を中心とした廃棄物の不法投棄事案件数を削減する

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和 2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,076	2,139	2,051	1,158	1,158	
人件費 B		15,795	10,660	9,840	15,065	15,065	
事業費合計 A+B		17,871	12,799	11,891	16,223	16,223	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	1,000	1,000	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	4	22	24	24	
	一般財源	17,871	11,795	10,869	16,199	16,199	
職員数(人)		1.95	1.30	1.20	1.90	1.90	
職員数の内訳	正規	1.95	1.30	1.20	1.80	1.80	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
活動指標	1	現場確認箇所数	箇所	目標	15	15	15	15	15
				実績	19	21	21	-	-
監視取締り対象現場への確認箇所（1出動当り延べ確認現場数）									
成果指標	1	苦情件数に対する解決率	%	目標	80	80	80	80	80
				実績	0	0	0	-	-
平成28年度より当事業の成果指標とせず、廃棄物不適正処理対策事業のみの成果指標とする									
成果指標	2	廃棄物不適正処理事案の解決率	%	目標	20	20	20	20	20
				実績	24	21	20	-	-
産業廃棄物不適正処理事案を解決した率									



# 平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	298				
部 局 名	環境部	所 属 名	施設整備課	所 属 長	米田 博明
事務事業名	01148 環境交流館管理運営事業	記 入 者	上松 一智		

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市伊香立環境交流館条例
	方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	関連する個別計画	
	政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
	施策	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	環境交流館管理運営事業費	
事業の概要	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした施設の管理運営を行う。なお、平成23年度に利用実態に合わせ「伊香立リサイクルプラザ」から「伊香立環境交流館」へと改めた。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図るため
対象 (何又は誰を)	市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	コミュニティ活動のための場所を提供し、環境ポスター等による情報の提供と啓発を行うことで
成果 (どのような状態にするのか)	地域コミュニティが活性化し、更なる地域環境の向上に繋がる。

## < 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,674	2,458	2,624	2,463	2,457	
人件費 B		7,080	8,296	8,184	8,102	8,102	
事業費合計 A+B		10,754	10,754	10,808	10,565	10,559	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	2	5	2	1	1	
	一般財源	10,752	10,749	10,806	10,564	10,558	
職員数(人)		2.58	2.58	2.56	2.55	2.55	
職員数の内訳	正規	0.18	0.18	0.16	0.15	0.15	
	嘱託	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
	臨時	1.40	0.40	0.40	0.40	0.40	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	開設日数	日	目標	298	298	298	297	296
		実績		296	305	298	-	-	
		伊香立環境交流館の開設日数							
2				目標					
				実績					
成果指標	1	利用者数	人	目標	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
		実績		11,792	12,007	11,368	-	-	
		伊香立環境交流館の年間利用者数							
2				目標					
				実績					

